

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時：平成29年6月9日（金）

09：45～10：30（2校時）

10：50～11：35（3校時）

11：45～12：30（4校時）

場 所：松江市立城北小学校体育館

対象者：同校6年生 96名

指導者：○6年部教職員

○島根県教育庁文化財課

錦織稔之・倉恒康一・野々村安

浩

1. 主題（主題名）

「奈良の大仏」の巨大さと、込められた思い

2. ねらい

- ・「奈良の大仏」について体験的、専門的に学び、巨大さとともに、込められた先人の思いについても触れる。
- ・島根の歴史・文化に対する興味・関心を高める。

学習活動	指導者の支援及び留意点
09:45～09:50（5分） ①はじめに～島根の歴史・文化の魅力～	・発掘調査で見つかった遺物や、遺跡の写真パネルなどを活用。
09:50～10:20（30分） ②「奈良の大仏」について、その巨大さを体験を通して学ぶ。 ※1m四方の部品パネルをパズル形式で組み立てていき、高さ18mの大仏を完成させる。 ※大仏完成後、思い思いの場所に座って、巨大さを体感できる写真を撮影。	・「奈良の大仏」の実物大パネルを活用。
10:20～10:30（10分） ③「奈良の大仏」について、造られた背景と、大仏の特徴について学ぶ。	・一方的な説明に終始せず、子どもたちが「気づき」「わかる」よう、質疑応答の対話形式で進行。 ・理解しやすい写真パネルを多様。

3. 展開

※3校時・4校時も同様の時間配分で実施。

4. 準備物等

- ・〔体験用具〕「奈良の大仏」の実物大パネル
- ・〔説明用具〕遺物、遺跡の写真パネル